

第2号様式(第12条関係)

令和元年度 第1回大和市文化創造拠点等運営審議会 会議要旨

- 1 日時 令和元年8月20日(火)午後5時~午後7時15分
- 2 場所 文化創造拠点シリウス2階 2-2会議室
- 3 出席者 委 員 6名
事務局 5名(文化スポーツ部長、図書・学び交流課長ほか3名)
指定管理者10名(やまとみらい統括責任者、芸術文化ホール館長、大和市長、大和市長、大和市長、大和市長、大和市長、大和市長、大和市長、大和市長)

4 傍聴人数 なし

5 議題 (1)指定管理者の評価について

6 議事要旨

(1)指定管理者の評価について

・文化創造拠点シリウス、中央林間図書館、及び大和市北部文化・スポーツ・子育てセンターの平成30年度分の事業結果並びに自己評価について、指定管理者から説明を行った。

【質疑応答】

委 員 :芸術文化ホールにおいて、一流アーティストと市民の交流というのは大変すばらしい。メインホールのホワイエを、一般開放するといいいのではないか。また、サブホールやマルチスペースの当日の催しの案内がわかりにくい。4階の健康都市大学は、看板が出ているので、同様にすれば、わかりやすいのではないか。

図書館は、対応も受付もよくなってきていると思う。ただ、専門的な蔵書が足りないのではないか。また、古くなった図書の有効活用をぜひ図っていただきたい。

学習センターは民間になったことでよく対応されている。6階を横断的に利用する大きなイ

ベントのときはどの部屋で何をやっているのか表示に工夫が必要だと思う。

屋内子ども広場は市外利用者が多いと思うので、市民を増やす工夫があれば良いと思う。

エレベーターについて、乗車人数が少ないとか階数表示が欲しいとのクレームはないか。

最後に、ポラリスは体育館の活用がもっとあってもいいのではないか。また、小・中学生への取組をもっとした方がいいのではないかと感じている。

指定管理者：メインホールを使っていないときのホワイトエの有効活用は検討したい。催しの案内は4階の健康都市大学を参考にわかりやすい表示を検討したい。

指定管理者：サブホールとギャラリーは、動線を確保する必要があるので、邪魔にならないよう検討していきたい。

指定管理者：図書館で所蔵しなくなった本の活用は、児童館や保育園など子ども向けの施設を対象に、年に1回児童書のリサイクルフェアを開催している。冊数制限はあるが、必要な児童書を持ち帰ることが出来る。

指定管理者：学習センターでは、現在、エレベーターを出た左側と学習センターの事務室前のホワイトボードに当日の利用団体一覧を掲示している。「生涯学習センターまつり」やフロア全体を使ったイベント時の掲示は、対応を考えていきたい。

指定管理者：屋内子ども広場は、平成29年度から市外登録者が増え、約6割強を占めている。市制記念の日、こどもの日、敬老の日などに、市民へ優待券を配ったり、回数券を発行したりすることを行政に提案していきたい。

指定管理者：エレベーターの問題は階数表示を含め数多くの意見が寄せられているが、物理的な問題もあり対応が難しい。

指定管理者：ポラリスのアリーナは、金、土、日、月曜日に種目を限定して個人利用出来るようにしているが、小・中学生だけではなく、大人も利用可能である。アリーナの空いている時間に小・中学生を対象にしたイベントを何か実施していきたいと考えている。

委員：スタッフが生き生きと働ける環境づくりやフォロー体制がきちんとされているか。

また、職員の定着率はどれくらいか。来館するたびに掃除は行き届いていると思うが、本棚の上の高いところのホコリが目についた。最後に、多言語に対応できる職員はいるか。

指定管理者：スタッフが生き生きと働けるような環境づくりに努めているつもりでいる。

指定管理者：芸術文化ホールのスタッフ数は25、6人程だが、全員残っているという状況ではない。ただ、半数以上のメンバーは最初からいるので、定着率は悪いと思っていない。

指定管理者：図書館も、夜が遅いので続けられないと辞めた方もいるが、半分以上のスタッフが残って

いる。

指定管理者：学習センターは社員とパートがいる。社員は8割ぐらいが定着している。パートは、夜が遅いことや家庭の事情で辞めた方が多い。開館当初から続けている方もおり、新しい方にもしっかり引継ぎをしながら対応している。

指定管理者：屋内こども広場では、開館からのスタッフが10名程いる。1年半～2年ほど勤めているスタッフが半数以上を占めているが、家庭の都合で辞める方もいる。若い学生のスタッフは就職や留学で辞めることもあるが、後輩を紹介してくれて面接に来ることもある。

指定管理者：防災センターは会社都合の異動はあるがほとんど変わっていない。清掃業務はパートが主体で、高齢でやめる方もいるが、うまく人員は補充できている。

指定管理者：全体で 200 人程でシフトを組んでいるが、職場環境が嫌だから辞めるという話は聞いていない。

本棚の上のホコリは我々も承知しているが、掃除の仕方が難しく検討事項としたい。

多言語の職員は、何か国語も話せる職員はいない。多言語での対応が必要なときは、国際化協会に協力をお願いしている。

委員：一時期責任者が不在だった点と電気主任技術者の変更手続きが大幅に遅れたという点で、どうしてこのようなことが起きたのかと、今後起こらないためにどのような対策をしているかを聞きたい。図書館について、レファレンスの目標値をどのように設定したか。また、件数を増やすために何をしているか。中央林間図書館は、蔵書回転率が高いとのことだが、他の図書館では、回転率がどのくらいか。また、分野ごとの蔵書回転率、蔵書構成が適切であるかの検討をしているか。

指定管理者：電気主任技術者は、半年以内に変更を届け出なければならなかった。我々の期日管理がきちんとできていなかったことが原因である。今後は、適切にスケジュール管理するよう体制を整えた。

指定管理者：大和市の建物を管理するのが指定管理者で、電気主任技術者を施設運営と違う企業から選出するというのが、例が少なく、うまく手続きが進まなかった。今後はそういうことがないようにやっていきたい。

指定管理者：責任者の不在は、当時の館長が本部との連携において一部コンプライアンス違反があった。適正な人間を配置するまでは、本部の運営責任者がフォローに入っていた。現在は、定期的に本部と現場の担当でミーティングし、現場の課題や就業規則の管理不足がないよう、連携を取り運営している。

指定管理者：図書館のレファレンス件数の目標は、過去に達成した件数を基準にした。目標を達成するための取組としては、今年度に入り、広報誌でレファレンスサービスの案内を記事にした。

指定管理者：他の館で蔵書回転率は算出していない。また、分野ごとの蔵書回転率は把握できていない。蔵書構成は、少ない蔵書数なので偏りのないよう中央林間図書館らしい蔵書構成を心がけている。

委員：中央林間図書館での目標値の設定はどのようにしたのか。

指定管理者：同規模の図書館やシリウスの数値を参考に設定した。

委員：レファレンスの件数について、クイックレファレンスが大半になると思うがその理解でよいか。

指定管理者：本館では、5階のカウンターで受けたレファレンスのみをカウントしていた。いわゆるクイックレファレンスはカウントしていない。今後は、それ以外のレファレンスも対象とすることを考えていきたい。

委員：そういう意味でのレファレンス件数ということであれば素晴らしいと思う。アメリカですら「レファレンス」という言葉は利用者に通じにくいという話があるなかで、レファレンスという名称そのものを変えるという選択肢もあると思う。利用の手引きには、どこに行けばレファレンスを受けられるか書いていなかった。その案内をすると、より利用されるのではないか。

委員：皆さんが細かく気を配り、連携をとるなど、影の努力があることで、シリウスにおけるすばらしい企業の融合事業があることを教えてもらった。

私は、中央林間図書館をよく利用している。先ほど、清掃の話が出たが、実際に清掃している姿を見て、いつも有難いと思っている。そういう姿が事業所への信頼感へ繋がると思う。

「こういうことに関心がある」「こんなことが面白いと聞いたけど」と、漠然とした質問から、興味のある本へとつながるようなレファレンスに期待している。

最後に、ポラリスでは生涯学習をどのように受け止めて、市民と向き合おうとしているのか。

指定管理者：生涯学習は、人と人のコミュニケーションや関わり、触れ合いの中で、学びたいというきっかけができるものだと思っている。個人個人が楽しく学ぶといった気持ちの方が大事だと思う。

委員：目標が高かったら低くすることもありだと思うので、数値目標を見直していただきたい。

全体の評価について、いろいろな施設が一体運営となり、窓口の対応レベルも高いところで統一されたと感じており、評価している。

事業報告書の体裁については、公式な文書として十分気を付けて欲しい。

委員：国会国立図書館と、都道府県立図書館、基礎自治体の図書館でのレファレンスは性質も、目標も、手法も違う。大和市のレファレンスでは、何が実現できればいいのか、何が与えら

これば最良となるのか考えていただきたい。

評価基準は、大和市で、どれぐらいの数値を実現できればいいかということを検討・協議し、この場でも意見交換できればと思う。

委員：他に質疑はあるか。

(一同)：特になし。

(指定管理者やまともらい退席)

・文化創造拠点シリウス、中央林間図書館、及び大和市北部文化・スポーツ・子育てセンターの平成30年度分の評価案について、事務局から説明を行った。

【質疑応答及び意見交換】

委員：北部文化・スポーツ・子育てセンターだが、総合評価で、学習センターを利用したことのない層を取り込み効果があったということだが、ただ、アリーナを利用するだけでなく、他の文化事業へ誘導できるようなことを考えて欲しい。

事務局：来館するきっかけができ、次の場へ繋がるような評価の文言に変更する。

委員：ポラリスで誰も利用していないのに煌々と電気がついているとの話を耳にする。安全面もあると思うが、節電のために消すことはないか。

事務局：環境面は配慮しなければいけないが、周辺に街灯が少なく安全面に配慮している。また、施設のPR目的もあり電気を付けている。市民だけでなく、電車に乗っている方への周知も兼ねている。ただ、現在は当初より抑えめにしているところではある。

委員：「連携事業の計画」について、の評価コメントは、さらに高いところを求める表現が望ましい。

事務局：評価としては、周辺からも注目されている運営形態であり、より高みを目指して欲しいという意味も込め表現を検討する。

委員：ここまで違う企業がよく連携をとり、一体となった施設を実現したのは市民だと思う。多くの利用者がいろいろな希望をぶつけることで、運営側は融合していかなければならなくなつた。

市外から来られる方の割合を聞き驚いた。この報告を見ていると市民に対して、どういう工夫をするか書かれている。次のステップは、市外の人についての分析が必要だと思う。

委員：累計来館者数 800 万人というのも良いが、来ていない市民も結構いる。

委員：常に来館者アンケートであって、利用したことのない人に対してアンケートはない。以前、別

の施設で行かない理由を尋ねるアンケートを取ったことがあるが、来館者ばかりを見ていると思ってもよらないような理由がたくさんあった。

委員：市民意識調査を定期的に行っていると思う。その中に項目がないか。

委員：来たことのない人の意見にもまだ何か埋まっている気がする。

事務局：市民意識調査は、施設に関連する設問はない。過去との数字の違いを見るのが市民意識調査の大きな要素としてある。状況も変わってきているので、統計の専門家の意見を聞きながら、調査をしている政策部門と調整していきたい。

委員：次の指定管理の期間で何を求めるかというときに、重要なことだと思う。

委員：先ほど中央林間図書館で、偏りのないよと言っていたが、シリウスの図書館と中央林間の図書館は違っていいと思う。役割、機能がずいぶん違うと思う。

委員：地域によって、要求される本は違うと思う。モニタリングの項目は、柔軟性を持ち、それぞれの図書館独自の項目を設定しなければならないのではないかな。

委員：渋谷図書館も今後、変わってくると思う。

委員：南部もまた要求される本の内容が違うと思う。

委員：近年は地域の特性に応じて図書館運営、蔵書構成を考える方向に移っている。また、居場所に着目しているのは社会の時流にもあっていて素晴らしい。今後、評価の仕方も量的なものから質的なものにシフトしていく必要もあるのではないかなと思う。

委員：素人が判断をするときに、数字やデータが非常にわかりやすい。数値目標にするのか定性的な感性目標にするのかは、難しいところ。目標を決めるときにバランスを考えて欲しい。

委員：統計の数値として信頼度が低いのは、個人的にレファレンスの件数だと思っている。図書館によって数え方が全然違う。

委員：中央林間図書館は駅に近く、行き帰りに使えるのは有難い。仕事をしている方が多く使うイメージがあると聞いたことがある。そのような特性をしっかり打ち出していいと思う。

委員：中央林間図書館の本の並べ方、選び方は、あの場所ならではのポテンシャルを最大限に発揮にしているかは疑問がある。

委員：他に意見はあるか。

(一同)：特になし。

委員：では、今後の対応について説明をお願いします。

事務局：後日、議事録と評価を皆さんにフィードバックする。審議会の意見の表現は、美山会長と調整していきたい。

委員：差し支えなければ最後の文言の調整は事務局と私で対応する。

(一同)：意義なし。

7 会議資料

- ・資料①-1 平成30年度大和市文化創造拠点評価書
- ・資料①-2 大和市文化創造拠点 平成30年度事業計画書
- ・資料①-3 大和市文化創造拠点 平成30年度事業報告書
- ・資料①-4 シリウスご来館者アンケート調査 報告
- ・(参考)平成29年度大和市文化創造拠点評価書
- ・資料②-1 平成30年度大和市立中央林間図書館評価書
- ・資料②-2 大和市立中央林間図書館 平成30年度事業計画書
- ・資料②-3 大和市立中央林間図書館 平成30年度事業報告書
- ・資料②-4 大和市立中央林間図書館ご来館者アンケート調査 報告
- ・資料③-1 平成30年度大和市中北部文化・スポーツ・子育てセンター評価書
- ・資料③-2 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター 平成30年度事業計画書
- ・資料③-3 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター 平成30年度事業報告書
- ・資料③-4 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンターご来館者アンケート調査 報告
- ・(参考資料)指定管理者の評価について